

看護科（看護情報）学習指導案

指導者

1. 履修単位数 2単位
2. 実施日時 令和6年12月17日（火） 第3時限
3. 学 級 看護科1年 ○○名
4. 使用教科書 看護・医療系のための情報科学入門 （サイオ出版）
5. 単 元 名 看護における情報の活用と管理

6. 単元について

(1)生徒観

生徒はスマートフォンやタブレット端末を日常的に使用していることから、情報機器を抵抗なく操作し、活用技術を身に付けようと主体的に取り組む姿勢がある。入学後より看護基礎科目を学び始め、看護の目的や機能について理解を深めており、よりよい看護実践について関心が高まっている。

(2)教材観

「看護における情報の活用と管理」の内容について学習指導要領では、「情報社会の進展に応じた情報と情報技術に関する知識と技術を習得し、看護の実践に適切に活用できるようにすること」をねらいとしている。このねらいを実現するため、教科書に加え、文部科学省が提示する「動画でわかる Society5.0 令和3年版科学と技術・イノベーション白書」等を活用し、情報化が進む医療現場の実情をイメージできるよう留意する。また、未来の医療現場を想像し、これからの情報社会で看護職に求められるものは何かを考えさせ、看護職を志す者としての自己の課題を発見し解決する方法を見出せるよう指導する。

(3)指導観

情報社会の進展に伴い、現在の医療は高度に情報化され、情報収集や処理、共有が容易となったことで医療の効率化は進んだ。情報化の進んだ医療現場で働く看護職として、ICTスキルやデータリテラシー、多職種連携におけるコミュニケーション能力を身に付けることが重要となる。一方で、情報化で補完できない人間の感情の理解や複雑な判断に基づく看護実践においては、看護職のもつ役割は大きい。本単元では、医療とコンピュータの関わり合いや、情報化された医療における看護の機能および役割について理解を深め、看護職としての情報活用、管理技術、倫理観を身に付けさせることをねらいとする。

7. 単元の目標

- (1)医療の情報化による効果およびリスクを理解する。
- (2)看護の提供における情報化の効果と課題や、情報化の進んだ医療現場における看護の機能について考察する。
- (3)高度に情報化された医療現場に臨む看護学生として、自己の課題と解決策を見いだそうとする態度を養う。

8. 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
医療現場におけるICT技術の活用と情報化の効果に関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。	情報化の進んだ医療現場で働く看護職に求められる能力や情報化の効果と課題について思考を深め、看護の実際について課題を発見し、合理的かつ創造的に解決策を見いだそうとしている。	高度に情報化された医療現場に臨むにあたり、看護学生としての自己の課題について自ら学び、多様な人々の適切な援助を目指して主体的かつ協働的に取り組もうとしている。

9. 指導計画（3時間）

第1次 Society5.0の社会における看護の役割・・・1時間（本時）

第2次 医療とコンピュータ・・・2時間

	【ねらい】・学習活動	評価の観点			評価規準 評価方法
		知・技	思・判・表	態	
第1次	医療現場における情報技術の活用例から、情報化で補完できない看護の機能について考察している。		●		観察 ワークシート 定期考査
第2次	医療現場における ICT 技術の活用による効果およびリスクを理解することができる。 情報化の進んだ医療現場で働く看護職の課題や、求められる能力を考察している。	●	●	●	観察 ワークシート 定期考査

10. 本時の目標

看護の提供における情報化の効果と課題や、情報化の進んだ医療現場における看護の機能について考察する。

11. 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	学習活動における 具体的評価規準	評価方法
導入 5分	本時の流れと学習の目標を確認する。	本時の流れと学習目標を提示する。		
展開 40分	4人8グループに分かれて、看護の仕事や役割を挙げる。	グループで付箋に書き出させる。		付箋の数と内容
	Society5.0に関する動画を視聴する。	情報化の進んだ現在および未来の医療現場をイメージさせる。		
	医療現場で稼働している情報機器の事例を提示し、搭載されている機能について知る。	看護師の業務の一部が情報機器に移行していることに気付かせる。		
	付箋に書き出した看護の仕事や役割のうち、情報機器が代替できることとできないことをグループで考える。	情報機器が補完できない看護の機能とは何か、気付いたことをグループで共有しまとめさせる。	看護の提供における情報化の効果と課題について、意見を共有して考察を深めている。 【思考・判断・表現】	観察 グループワークシート
まとめ 5分	情報化の進んだ医療現場において、看護に求められているものは何か、自分の考えをまとめる。	人間が看護を行う意義について考えさせる。	情報化の進んだ医療現場における看護の役割について考察している。 【思考・判断・表現】	Forms
	本時のまとめを行う。	Formsの回答を共有し、情報化が進んでも人間が看護を行うことに意義があることを伝える。		
	次回の授業につなげる。	本時の気づきをもって、次回以降の授業で具体的な知識の学びにつなげる。		

1 2. 評価の目安と目標実現のための手立て 評価及び指導の例

A	十分満足できる	- 看護の仕事の中から、情報機器で補完できない看護の機能についてグループメンバーの意見を取り入れながら考察を深めている。 - 情報化が進んだ医療現場における看護の機能について考察を深め、人間が看護を行う意義について、自分の考えを具体的に記述している。
B	おおむね満足される	- 看護の仕事の中から、情報機器で補完できない看護の機能について考察している。 - 情報化が進んだ医療現場における看護の機能について考察し、人間が看護を行う意義について記述している。
C	Bを満たさない生徒への具体的な手立て	- 情報機器では補えない看護の役割について、実際の看護場面を具体的に伝えながらイメージできるよう働きかける。 - 情報機器ではなく人間の看護師が看護を行うことは、患者にとってどのような意味をもつのか考えさせる。